

平成15年度 第3回  
受注登録企業動向調査結果報告書

(平成15年12月末現在)

財団法人 京都産業21

## 1. 調査概要

### (1) 調査目的

受注登録企業の受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

### (2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300企業

業種別内訳（産業分類 中分類）

鉄鋼・非鉄関係	30企業	金属製品関係	45企業
一般機器関係	45企業	電気機器関係	45企業
輸送用機器関係	30企業	精密機器関係	30企業
縫製関係	45企業	樹脂製品関係	30企業

### (3) 調査時点

平成15年12月31日現在

（前回調査時点 平成15年9月30日）

### (4) 調査方法

調査票（別紙様式）の郵送によるアンケート方式

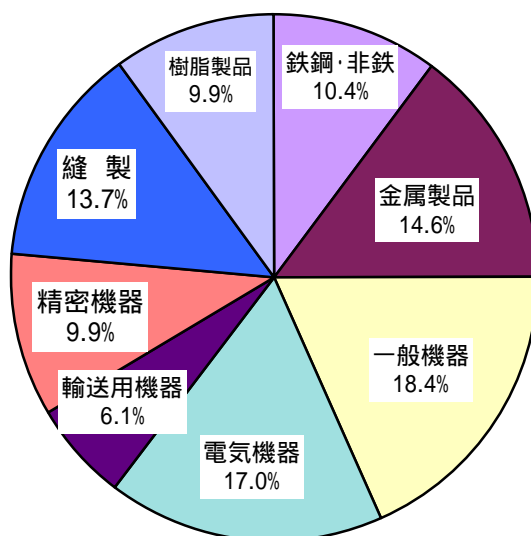
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

### (5) 回収状況

調査対象企業数	300企業		
回収企業	212企業		
内訳	鉄鋼・非鉄関係	22企業	( 10.4%)
	金属製品関係	31企業	( 14.6%)
	一般機器関係	39企業	( 18.4%)
	電気機器関係	36企業	( 17.0%)
	輸送用機器関係	13企業	( 6.1%)
	精密機器関係	21企業	( 9.9%)
	縫製関係	29企業	( 13.7%)
	樹脂製品関係	21企業	( 9.9%)
回収率	70.7%		

## 2. 回答企業の概要

### (1) 業種別回答企業の内訳



### (2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位:社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫 製	樹脂製品
個人	24 11.3%	2 9.1%	1 3.1%	1 2.6%	5 14.3%	1 7.1%	1 4.8%	10 34.5%	3 14.3%
~ 300万円	24 11.3%	3 13.6%	2 6.3%	2 5.3%	3 8.6%	1 7.1%	3 14.3%	8 27.6%	2 9.5%
301 ~ 999万円	18 8.5%	1 4.5%	1 3.1%	3 7.9%	2 5.7%	2 14.3%	3 14.3%	4 13.8%	2 9.5%
1,000 ~ 2,000万円	110 51.9%	7 31.8%	25 78.1%	25 65.8%	21 60.0%	8 57.1%	9 42.9%	7 24.1%	8 38.1%
2,001 ~ 5,000万円	30 14.2%	6 27.3%	3 9.4%	7 18.4%	3 8.6%	2 14.3%	4 19.0%	0 0.0%	5 23.8%
5,000万円超	6 2.8%	3 13.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.9%	0 0.0%	1 4.8%	0 0.0%	1 4.8%
合 計	212 100%	22 100%	32 100%	38 100%	35 100%	14 100%	21 100%	29 100%	21 100%

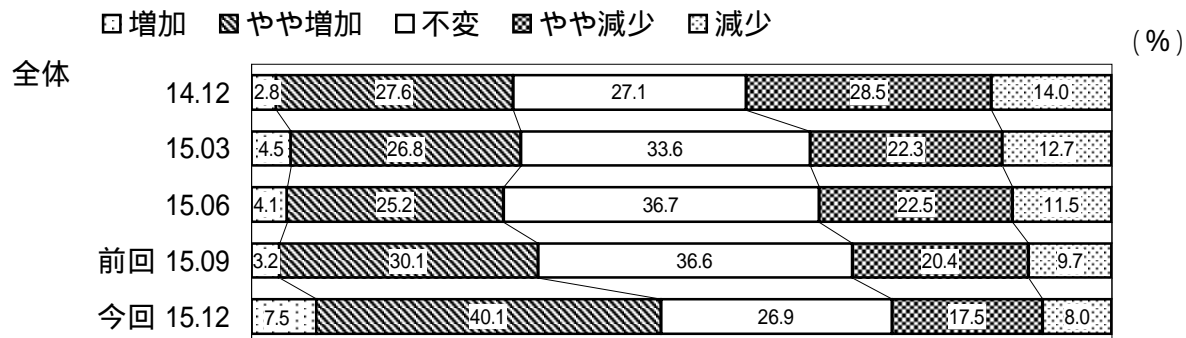
### (3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位:社)

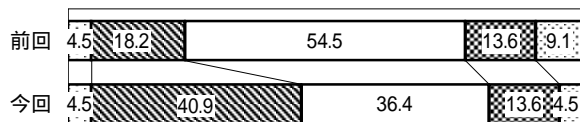
	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫 製	樹脂製品
1 ~ 5人	40 18.9%	4 18.2%	1 3.1%	3 7.9%	6 17.1%	3 21.4%	4 19.0%	12 41.4%	7 33.3%
6 ~ 10人	46 21.7%	4 18.2%	8 25.0%	11 28.9%	5 14.3%	2 14.3%	3 14.3%	10 34.5%	3 14.3%
11 ~ 20人	47 22.2%	3 13.6%	15 46.9%	7 18.4%	6 17.1%	3 21.4%	6 28.6%	6 20.7%	1 4.8%
21 ~ 30人	34 16.0%	5 22.7%	4 12.5%	10 26.3%	6 17.1%	3 21.4%	2 9.5%	0 0.0%	4 19.0%
31 ~ 50人	22 10.4%	1 4.5%	1 3.1%	4 10.5%	6 17.1%	3 21.4%	3 14.3%	1 3.4%	3 14.3%
51人以上	23 10.8%	5 22.7%	3 9.4%	3 7.9%	6 17.1%	0 0.0%	3 14.3%	0 0.0%	3 14.3%
合 計	212 100%	22 100%	32 100%	38 100%	35 100%	14 100%	21 100%	29 100%	21 100%

### 3. 調査結果

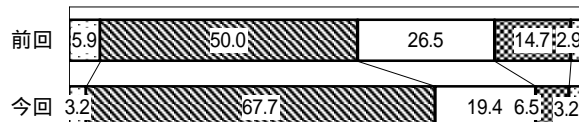
#### (1) 受注量について



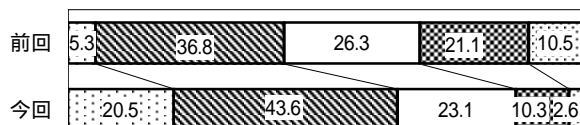
#### 鉄鋼・非鉄



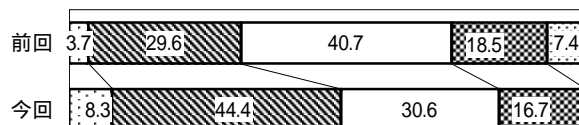
#### 金属製品



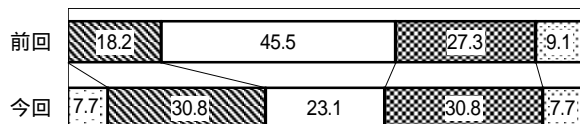
#### 一般機器



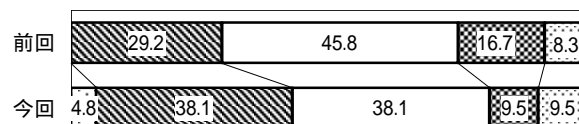
#### 電気機器



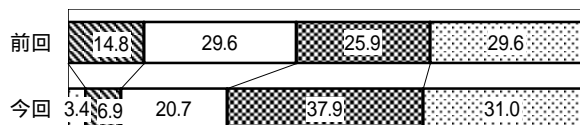
#### 輸送用機器



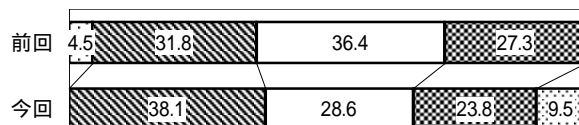
#### 精密機器



#### 縫製



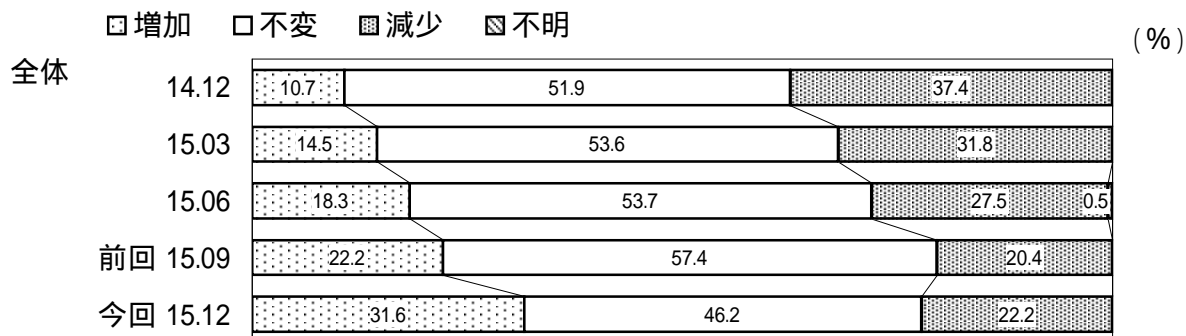
#### 樹脂製品



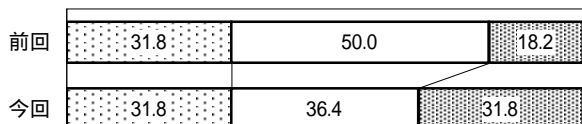
・全体では、「増えた」（増加又はやや増加）とする企業が47.6%で前回調査と比べて14.3ポイント増加し、「減った」（減少又はやや減少）とする企業は25.5%で、前回調査と比べて4.6ポイント減少している。前回調査に続き、「増えた」とする企業が「減った」とする企業を上回っており、回復傾向がうかがえる。

・業種別に見ると、縫製を除いて「増えた」とする企業が増えており、幅広い回復基調が続いている。ただ、樹脂製品、輸送用機器では「減った」とする回答も増加しており、二極化の状況も見られる。

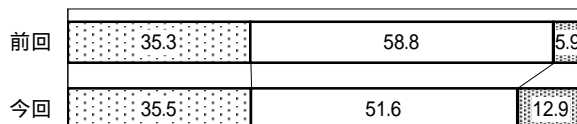
(2) 受注量の見通しについて



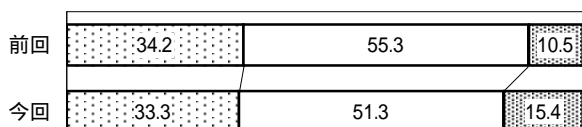
鉄鋼・非鉄



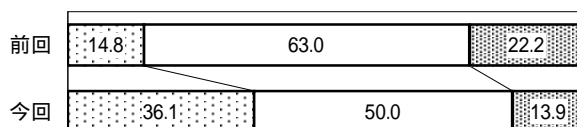
金属製品



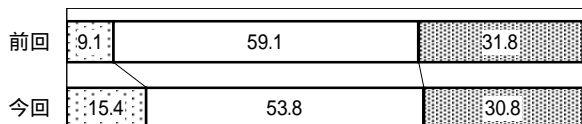
一般機器



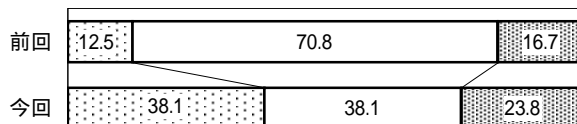
電気機器



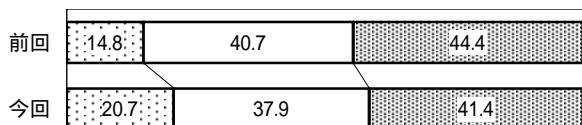
輸送用機器



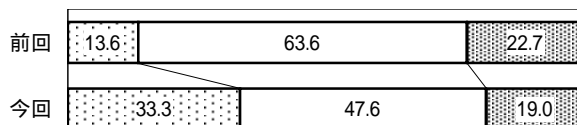
精密機器



縫製



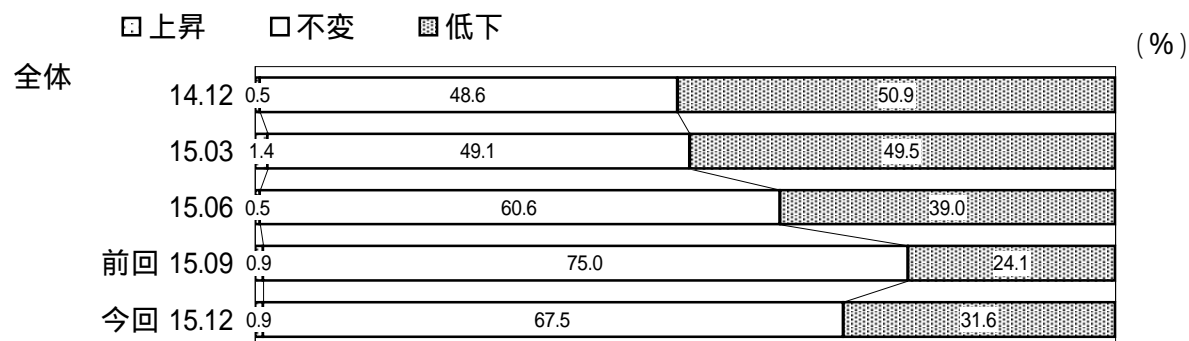
樹脂製品



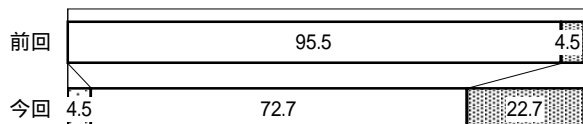
・全体では、「増加」とする企業が31.6%で前回調査と比べて9.4ポイント増加し、「減少」とする企業が22.2%で前回と比較して1.8ポイント増加している。「不変」が5割近くを占め、引き続き予断を許さない状況であるものの、前回調査に続き、「増加」とする企業が「減少」とする企業を上回っており、回復傾向が見られる。

・業種別に見ると、輸送用機器、縫製を除き、「増加」が「減少」を上回ってるものの、縫製では、4割超が「減少」としており、厳しい見通しとなっている。

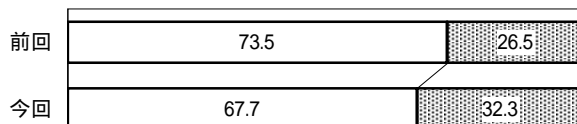
(3) 受注単価について



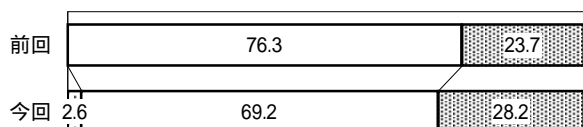
鉄鋼・非鉄



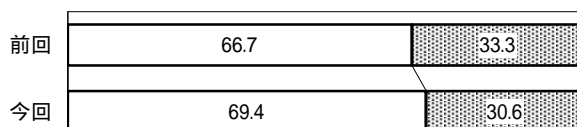
金属製品



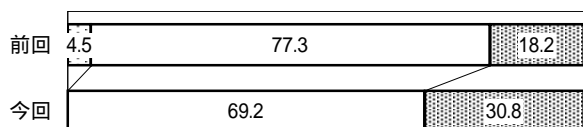
一般機器



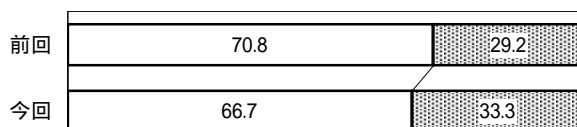
電気機器



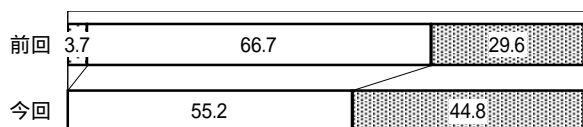
輸送用機器



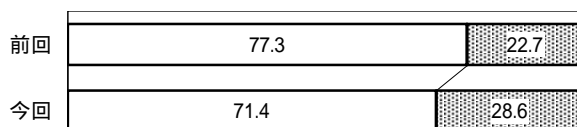
精密機器



縫製



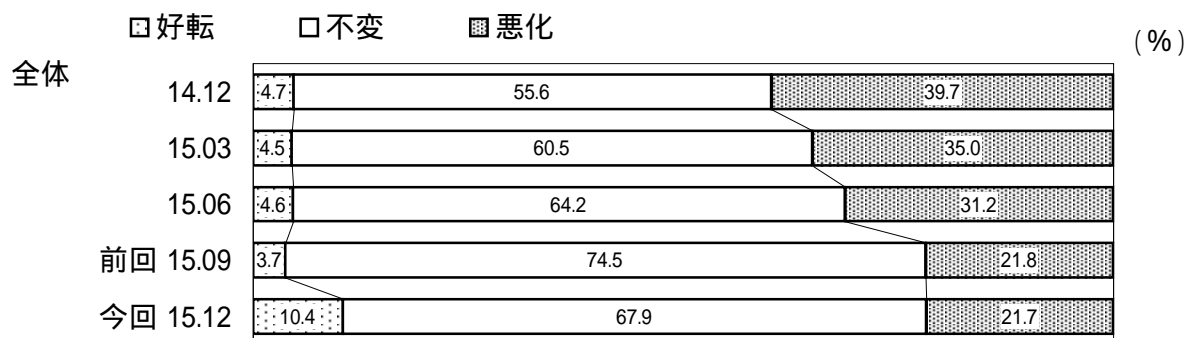
樹脂製品



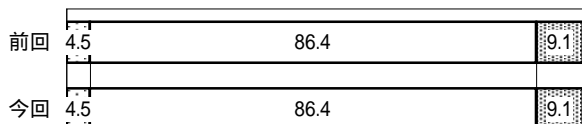
・全体では、0.9%と僅かながら「上昇」が見られるものの、前回調査と比べて「低下」とする企業が7.5ポイント増加して3割を占め、また「不変」も7割近くあり、依然として厳しい状況が続いている。

・業種別に見ると、鉄鋼・非鉄、一般機器で「上昇」が見られるものの、各業種とも「低下」とする企業が増加している。

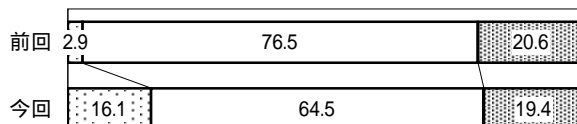
(4) 資金繰りについて



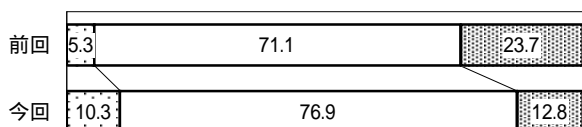
鉄鋼・非鉄



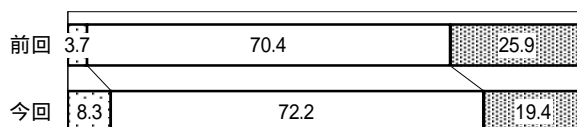
金属製品



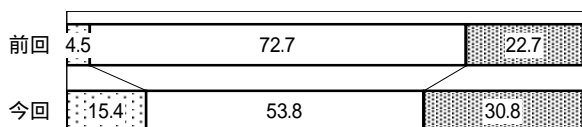
一般機器



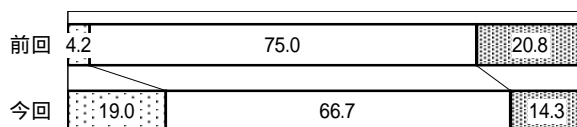
電気機器



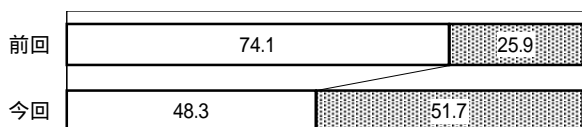
輸送用機器



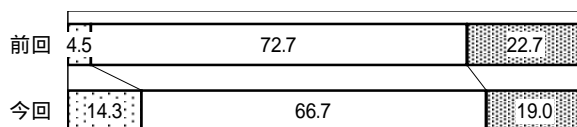
精密機器



縫製



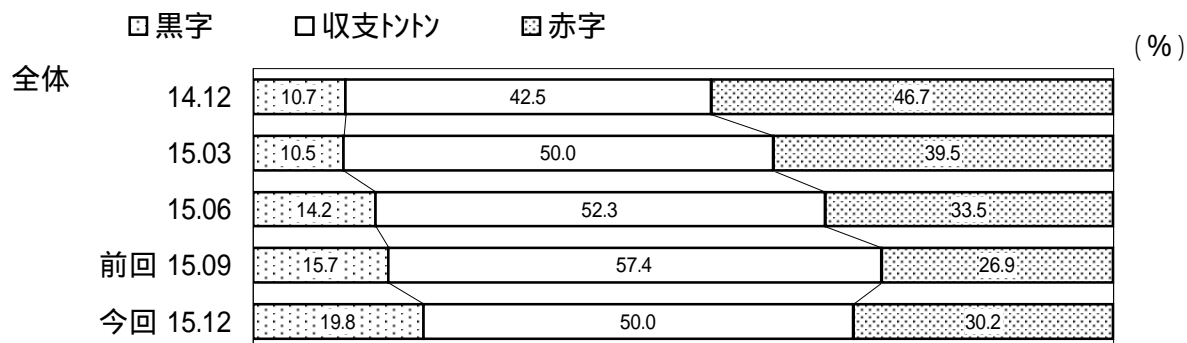
樹脂製品



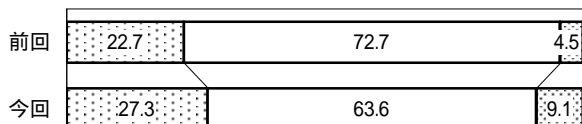
・全体では、「好転」とする企業は10.4%、「悪化」とする企業が21.7%で、「悪化」が「好転」を上回っている。前回調査と比べると「好転」が6.7ポイント増加しており、「悪化」は僅かながら(0.1ポイント)減少している。

・業種別に見ると、精密機器を除き、「悪化」とする企業が「好転」とする企業を上回っている。前回調査と比べると、縫製では「好転」とする企業が今回もゼロであり、「悪化」とする企業が約2倍の割合で増加している。

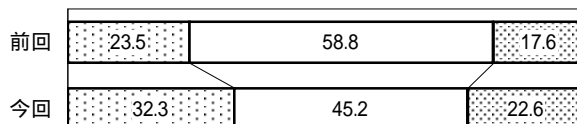
(5) 採算状況について



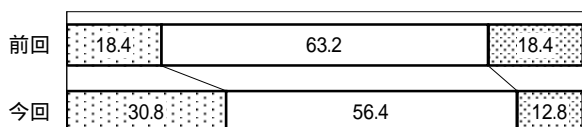
鉄鋼・非鉄



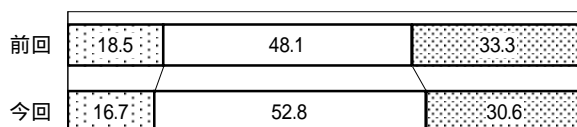
金属製品



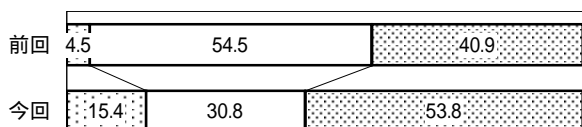
一般機器



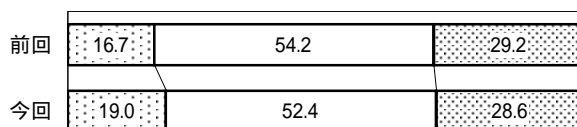
電気機器



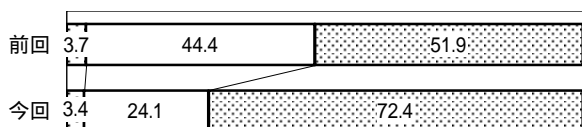
輸送用機器



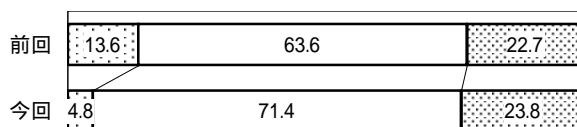
精密機器



縫製



樹脂製品

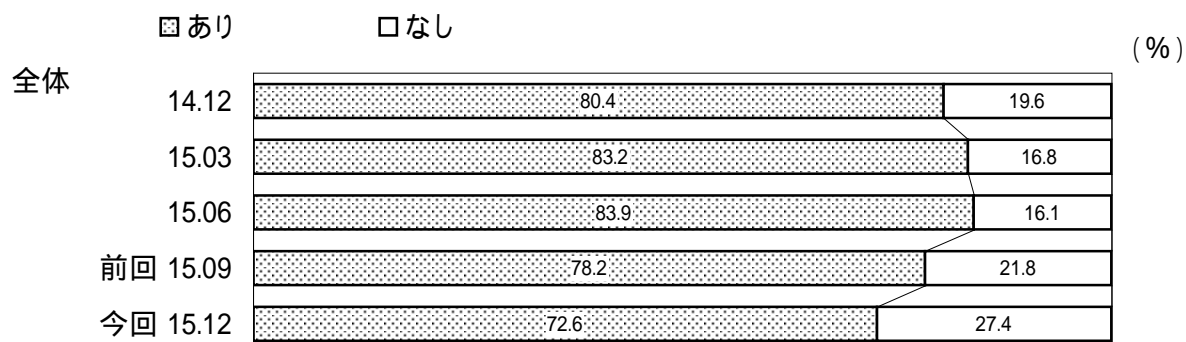


・全体では、「黒字」とする企業が19.8%で前回調査と比べて4.1ポイント増加しているものの、「赤字」とする企業が30.2%を占めており、依然として「赤字」が「黒字」を上回り、厳しい採算状況を強いられている。

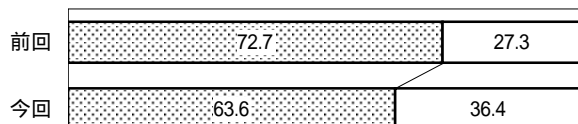
・業種別に見ると、前回調査と比べて、電気機器、縫製、樹脂製品を除き、「黒字」とする企業が増加している。しかし縫製では、7割超が「赤字」としており、厳しい状況がうかがえる。



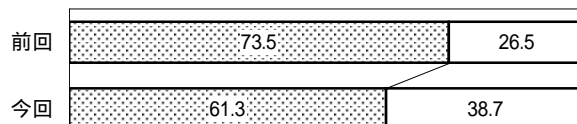
(6) 受注余力について



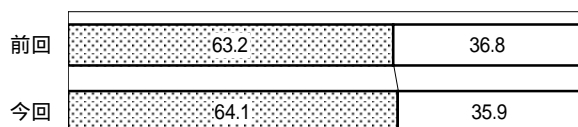
鉄鋼・非鉄



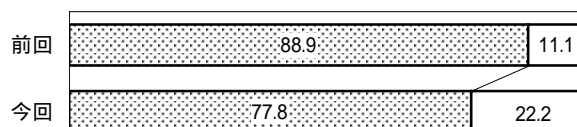
金属製品



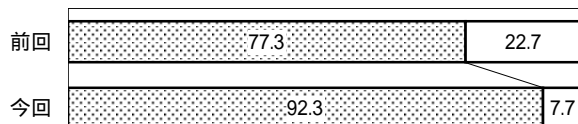
一般機器



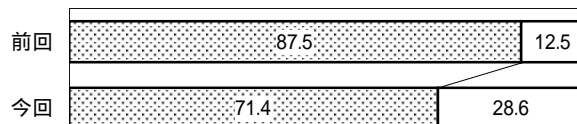
電気機器



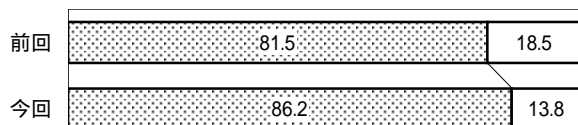
輸送用機器



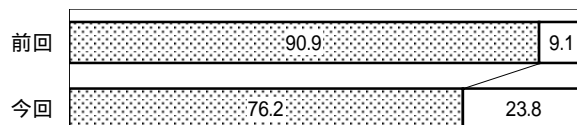
精密機器



縫製



樹脂製品



・全体では、余力「あり」とする企業が前回調査と比べて5.6ポイント減少しているものの、72.6%の企業で受注余力があり、依然として受注確保の難しさがうかがえる。

・業種別に見ると、前回調査と比べて、一般機器、輸送用機器、縫製で、余力「あり」とする企業が増加しており、中でも輸送用機器では、余力「あり」とする企業が9割に達している。一方、余力「なし」とする企業が増加している業種もあり、ばらつきが見られる。

財団法人 京都産業 21

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町 134 (京都府産業プラザ内)

TEL (075) 315 - 9234 FAX (075) 314 - 4270

E mail: kikaku@ki21.jp

URL : <http://www.ki21.jp>